妊娠中のおかあさんへ
RS ウイルス予防接種のご案内

★RS ウイルス感染症について★

新生児、乳児が RS ウイルスに感染すると、重症になり入院したり、集中治療（酸素投与や人工呼吸）が必要となったりすることがあります。

生後 6 か月未満、特に生後 1～2 か月でリスクが高いです。

入院や集中治療が必要になった乳児の 80～90%は基礎疾患がなかったと報告されています。

＜予防方法＞

「アブリスボ®」という予防接種です。1回接種（筋肉注射）で実施します。

＜対象＞

妊娠 24 週～36週の妊婦さん（**妊娠 28～36 週の接種**が望ましいとされてます）

※なお、60歳以上の方も接種対象になっております

＜効果＞

妊娠中に接種し、母体が産生した抗体が胎盤を介しておなかの赤ちゃんに移行し、出生後の赤ちゃんの RS ウイルス感染症を予防します。

※任意接種のため、下記の費用がかかります。

アブリスボ：1回￥28,000

はらまち
スマイル
クリニック
HARAMACHI SMILE CLINIC